



二宮町立山西小学校  
学校便り「ゆずり葉」  
第96号  
山西小学校72-3777

### 令和の時代を明るく生きる



今年度、校長になりました藤田和人です。昨年度までは、本校で担任、教務、教頭を合わせて七年間務めました。今までの経験を生かしながら、学校づくりを進めていきます。

私が小学校に通っていたのは、今から約四〇年前のことです。その頃を思い出してみると、携帯電話を持っていない人は一人もいませんでした。家のテレビでゲームができるなんて予想もしませんでした。エアコンに頼らず、自分で暑さを凌ぐことは当たり前のことでした。便利なものが次々と登場する反面、それらによる社会問題も大きく変化してきています。

今の子供たちが大人になる頃の世の中はどのようになっているのでしょうか。未知の未来です。多くの子供たちは、今は無い職業に就いていると言われています。また、新たな社会問題にも対応していかなければならないでしょう。未知の未来で、社会人として逞しく生きていくためには、この九年間という義務教育の期間はとて大切な基礎教育であると考えています。学力、社会性、社会規範等、子

供たちが身に付けなければならないことはたくさんあります。

「平成」から「令和」へと時代が移りましたが、昔から「不易」と「流行」という言葉があります。時代を超えても、社会が変化しようとも、変わらない本質的な価値を忘れずに、新しいものを取り入れながらこれからの時代を明るく生きてほしいです。学校と家庭と地域が力を合わせて子供たちを育てていきたいものです。どうぞよろしくお願いします。

### 四十九名の新一年生を迎えました

四月五日(金)、第四三回入学式が行われ、四十九名の新一年生を迎えました。とても元気な子供たちで、目が輝いていました。ようやく学校生活にも慣れてきたようで、毎日楽しそうに集団生活を送っています。

入学式の中で私が話したことは、

**は** 早寝早起き朝ごはん

**う** 元気よく運動

**お** お勉強を楽しむ

**よ** お話をよく聞く

四文字を並べ替えて **おはよう** 挨拶です。

健やかに成長するための基本です。毎朝、元気な子供たちに会えるのを楽しみにしています。



### コミュニティ・スクールとして動き出しました

今年度から町の小中五校がすべてコミュニティ・スクールとなりました。山西小学校でも学校運営協議会を立ち上げ、一年間の学校の活動を話し合いました。学校運営協議会のメンバーは、地域の方八名と教頭、校長の十名です。学校が大きく変わるものではありません。コミュニティ・スクールとは、地域住民が学校教育を支援したり、学校が、学校運営に対しての意見を頂いたりしながら、地域全体で地域の子供たちを育てていこうという目標を持った制度・しくみのことです。

本校では、学校と地域との関わりについて三つの柱を立てました。

**見守り部門** 校外での子供たちの安全

**学習部門** 学習の発展、学習協力

**環境部門** 校内の環境整備、美化

この中で、今年度、特に保護者や地域の方々にお願したいことは **見守り部門** です。安全についての意識をちょっとで構わないので高めてほしいということです。ご自身がお車等を運転されるときに、いつもよりスピードを落とすとか、慌てる気持ちを抑えるとかを心掛けてみてください。子供たちの安全について何か感じるが出てくると思います。「地域のみんなで、地域の子どもたちを見守り育てる」、そんな山西小学区にしていきます。